



水道橋畔発

第31号 令和2年7月

Content

〔病院長より〕

新型コロナウイルス感染拡大に伴う当院の診療

東京歯科大学水道橋病院長 片倉 朗

会計後払いシステムで待ち時間を解消!!

当院での新型コロナウイルス感染症への対応

東京歯科大学水道橋病院副病院長 高野 正行

〔コラム〕 電車に乗らずに旅をする

東京歯科大学歯科放射線学講座 後藤 多津子

歯科放射線科紹介

ICT (Infection Control Team) 紹介



〔病院長より〕

新型コロナウイルス感染拡大に伴う当院の診療

東京歯科大学水道橋病院長 片倉 朗

新型コロナウイルスの感染者が発生し入港先を探していたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」が横浜港に入港し検疫が始まったのは2月3日です。2月中旬には日本国内でも感染拡大の兆候が認められました。当院では2月5日から患者様の入館時の問診と検温を開始し、予約時間の調整による患者の分散や診療内容に配慮した運営体制を構築しました。また、厚生労働省・東京都・日本歯科医師会・関連学会等から発信される様々な情報を当院の感染予防対策チームが中心となって統合して、当院の実情にあった感染予防対策を講じました。当院は東京・神奈川・埼玉・千葉などの首都圏を中心に平日は約800～900名の幅広い患者様に来院頂き、また勤務する教職員の通勤圏も広いことから、患者様・教職員の両面からの院内感染予防の取り組みが重要となり、4月11日から各科の当番医による通院中の患者様の急患あるいは応急対応、悪性腫瘍や手術後の経過観察、電話対応などを中心とし、1日50～60名を診察する体制にしました。初診の方は地域連携医療機関等からの紹介状をお持ちで早急な対応が必要な方以外は、原則として

受付を致しませんでした。また、口腔外科と眼科の入院・手術もすべて延期して、重篤な炎症・外傷・腫瘍など緊急性がある方は本学市川総合病院や関連する都立病院の口腔外科に対応を依頼する体制をとってまいりました。この間、多くの患者様と御紹介いただいております先生方には多大な御不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

6月1日からは院内が混雑しないように、また新型コロナウイルスに対応した感染予防対策を施して段階的に診療を復旧しております。6月18日からは診療費を患者様のスマートホンにあとから請求する診療費の後払いシステムも導入され、会計待ちの混雑緩和ができました。

医療現場にも新たな環境整備が必要となりました。行政や関連学会から発信される情報や指針をもとに、実態に則した感染予防対策を臨機応変に施し、さらに安全で良質な医療を提供できるように尽力してまいります。連携をいただいている先生方には、どうか当院の対応に御理解を頂きまして、今後とも引き続きよろしくお願ひ申し上げる次第です。



当院での新型コロナウイルス感染症への対応

東京歯科大学水道橋病院副院長 高野 正行



アクリルパーテーション



サーマルカメラによる体温検知



フェイスシールドと防護服による飛沫感染防止対策



水道橋病院の医療安全管理、感染予防対策担当をしております副院長の高野正行と申します。今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な蔓延と緊急事態宣言に基づく活動自粛や自宅待機などにより、皆様の日常生活や診療などに多大な影響を及ぼしていることと存じます。今回の新型ウイルスについてはその特徴が未知なところが多く、また急速に日本や欧米にも拡大したため、早急で確実な対応を迫られました。水道橋病院においては、日常より院内感染予防について医療法等に基づき細心の注意と対策をとって参りましたが、感染拡大による緊急の対応策として、来院される患者さま全員に1階の受付前で感染者のスクリーニングのために、体調、海外渡航歴、感染者との接触歴、嗅覚味覚の異常等をお尋ねする問診票への記入と検温を実施し、問題がなかった方のみを診察することとしました。その直後には都内の複数の病院でCOVID-19による院内感染が報道されておりましたので、様々な面から警戒を強めておりました。

その後、4月7日に緊急事態宣言が発令されたので、病院全体を休日急患体制とすることにより受診される患者さまを制限させていただき、ウイルスの院内への侵入と拡大を可能な限り押さえ込む方策をとりました。すなわち、1階での問診、検温ののち病院の2階と3階に各科の診療を集約したうえで、不急の診療は控えて当面必要な処置のみを行い、唾液、血液の飛散やエアロゾルの発生を伴うような処置については延期をお願いしました。また、入院手術を含め急性症状がなく延期可能な手術や

処置については、患者さまに電話等でご連絡して延期をお願いいたしました。この間、日頃より当院にご紹介いただいている先生方には多大なるご不便、ご迷惑をおかけしたと存じます。この期間、1日あたり50人前後の患者さまには来院いただき、いま必要な治療を続けました。そして紹介医の皆様のご理解と患者様のご協力と病院スタッフ一人ひとりの努力により現在まで新型コロナウイルスの感染やそれを疑う症状も認めることなく経過しております。

緊急事態宣言解除後の6月1日からは各科での診療を再開しておりますが、混雑や過密を避けるため1日の診療件数は通常の半分以下にして対応しています。また、感染防御に関わるグローブ、フェイスシールド、マスク、予防着感染防御着（PPE）もまだ入荷が不安定で不足しがちですが様々に工夫したうえで通常より防御レベルを上げて対応しています。

首都圏の感染は収束に向かいつつあるようですが、まだ都内の感染者数は二桁で推移しており、感染の再拡大、第二波なども懸念される所です。このような状況ですので1階フロアでの問診、検温は引き続き行っており、6月初めの現在は、当院への紹介状をお持ちの患者様、当日予約のある患者様のみを診察させていただいております。今後、感染防御に配慮しながら徐々に診療を復旧させてまいります。診察形態に変化がありましたらその都度、病院HPを通じお知らせ申し上げますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。



歯科放射線科紹介

放射線科は現在、完全にフィルムレスの画像検査を行い、読影用画像モニターを備えた読影専門端末により読影し、画像診断を行っております。2017年の水道橋病院の改装工事により、外来スペース(図1)が拡張され、読影室や臨床実習のための学生実習室(図2)を備え、新しい機器がいくつか導入されました。また診療放射線技師も増員され、日々依頼される画像検査を行っております。過去5年間の当科における画像検査依頼件数およびCT・CBCT検査数の推移をみますと、ともに増加傾向にあります(図3,4)。現在外来で活躍している主な機器について紹介いたします。

1. フラットパネルディテクター(CALNEO Smart、富士フィルム社製)(図5)

セファログラフィなどの頭部一般撮影および胸部撮影に導入されました。高感度であるだけでなくノイズが低減されており、低線量なため低被曝、そして高画質な画像が得られています(図6)。また、内臓メモリに複数枚撮り溜めをすることが可能なため、撮影時間が短縮されています。

2. CBCT(3D Accuitomo F17、モリタ社製)(図7)

最小ボクセルサイズが80 μ mであり、極めて解像度の

高い画像が得られます。これにより歯や顎骨内の詳細な解剖構造の描出が可能であり、埋伏歯と下顎管との関係のみならず、歯の破折の有無(図8)や根管形態の描出などに役立っています。

3. 超音波装置(Aixplorer、コニカミノルタ社製)(図9) 口腔外用と口腔内用のプローブ(探触子)を備えています(図10)。顎顔面部の表在性の軟部病変や悪性腫瘍の術後の顎部リンパ節のフォローアップに有用です。口腔内プローブはCTやMRIでは描出が難しい舌や口腔粘膜の小さな病変の描出に役立っています(図11)。

当科へは、都内だけでなく、千葉県、埼玉県、あるいは神奈川県と県外からも計110件ほどのクリニックより、セファログラフィのご依頼をいただいております。また、インプラントの術前検査や埋伏歯の位置確認などでCT検査の依頼も受けております。ここ最近はコロナウイルスの影響で、感染対策上、検査数を抑えておりますが、当科でも、withコロナの新しい診療態勢の中で、御依頼いただいた検査を円滑に進めるために、システムの改良を行っております。システムが整い次第、先生方にはお知らせをさせていただき予定しております。引き続き地域の先生方と連携を取りつつ、御依頼いただく検査画像の提供をしてみたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【図1】拡張された放射線科外来



【図2】学生実習室

◀臨床実習では、1人が2台の読影モニターを使用して、読影方法などを学んでいる。



【図6】セファログラム(側面像)



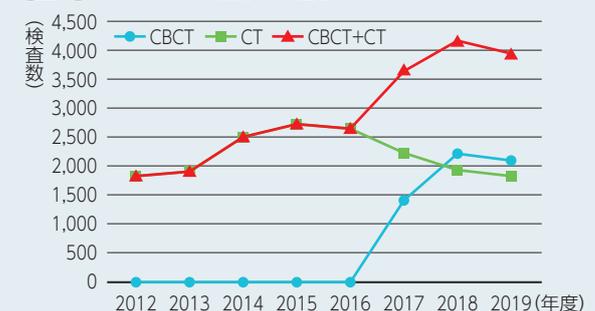
【図7】CBCT装置

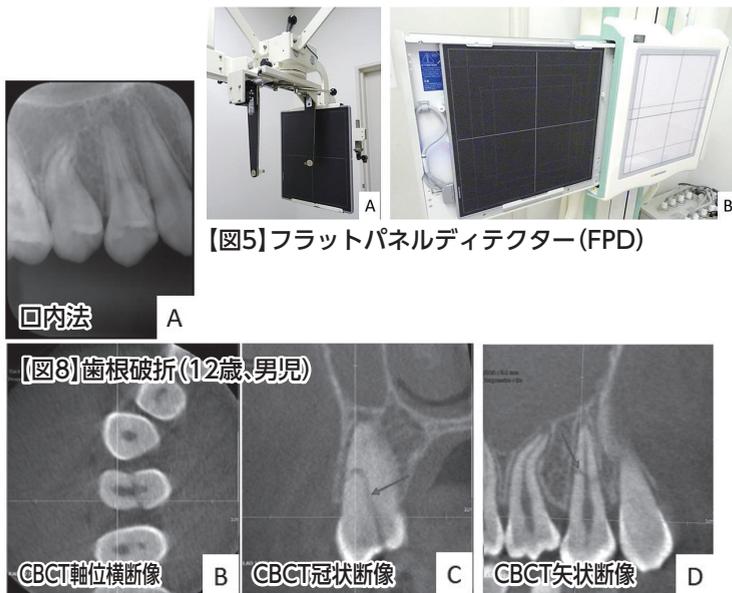


【図3】画像検査依頼件数の推移



【図4】CT・CBCT検査数の推移





会計後払いシステムで 待ち時間を解消!!

東京歯科大学水道橋病院を
受診される患者さんへ

今すぐ
使える!

**お会計を待たずに
すぐに帰れます!**

ご利用手数料
0円

Sma-pa
病院外来アプリ
Sma-pa (スマパ)

Google Play
App Store

対象OSは下記のバージョンとなります
iOS 11.0以上 / Android 5.0以上

**クレジットカード
登録の仕方** 初回のみ

- 「医療費支払い」を
選択
- 「設定」を押して
クレジットカードを登録

便利機能
パソコンやアプリから
領収書・明細書の
確認ができます
※後払い・受付票が必要となります
https://www.smapa-checkout.jp/

※時間外、休日診療での利用は、この後払い会計を利用することが出来ません。※国の法律に基づく公費負担制度(自立支援医療・難病医療費助成)など医療券に医療費の記載が必要な場合は、この後払い会計を利用することが出来ません。※入院費のお支払いにはこの後払い会計を利用することが出来ません。※入院退院のカード支払いに関しては、入院窓口で対応できます。

**デジタル診察券の
登録の仕方** 初回のみ

院内の端末を操作ください▶

- 診察券を端末で
スキャンしてください
- 「アプリ利用登録」を
選択してください
- 「診察券」を選択 スキャンを選択
- 端末に表示される
QRコードを
読み取ってください。

後払い登録(支払い)の仕方

- 「診察券」を選択しQRコードを端末で
スキャンしてください
- 「医療費支払い」を選択
その後は端末の
案内に従って手続きを
進めてください
- 診察
診察をお受けください
- 後払い受付票提出
カルテ送納時にご提示ください
- 帰宅
お薬のお受け取りが必要な患者様は
受け取り後のご帰宅となります

当院は 6 月より、「会計後払いシステム」の運用を開始いたします。

後払い受付を、診療前に申請することで、診療終了後、会計を待たずにそのままお帰りいただくことができ(処方がある場合を除きます。)、診療費に関しましては、後日、事前に専用アプリにて登録したクレジットカードより、引き落とされるシステムとなっております。

システム導入により、かねてより患者様からの最も多い要望事案でありました、「会計待ち時間」の短縮につながり、患者様 サービスの大幅な向上につながります。

また、待ち時間を短縮することで「密」状態を解消し、感染対策にも一役買っております。

是非、皆様、ご登録・ご利用宜しく願いいたします。
(水道橋病院医事課 内田 篤志 記)

病院長	片倉 朗			令和2年6月1日現在	
副病院長	古澤 成博	副病院長	山下 秀一郎	東京歯科大学水道橋病院 診療科担当医ご案内(レギュラースタッフ)	
副病院長	鳥山 佳則	副病院長	高野 正行		

診療科名	職名	氏名	講座名
保存科	部長・教授	古澤 成博	歯内療法学
	講師	山田 雅司	
	助教	佐古 亮	
		田宮 資己	歯周病学
	教授	齋藤 淳	
	講師	勢島 典	
		今村 健太郎	
	助教	喜田 大智	
		青木 栄人	
		吉川 幸輝	保存修復学
	教授	村松 敬	
	准教授	杉戸 博記	
医局長・講師	春山 亜貴子		
講師	半場 秀典		
助教	中村 圭喜		
	三友 啓介	老年歯科補綴学	
教授	上田 貴之		
	竜 正大		
講師	高野 智史		
	中島 純子		
	(太田 緑)		
助教	堀部 耕広		
	齋藤 壮		
	石田 晃裕		
教授	関根 秀志		
	佐藤 亨		
補綴科	講師		野本 俊太郎
		四ツ谷 護	
		神田 雄平	
	助教	酒井 貴徳	
		露木 悠	
		川崎 貴裕	
部長・教授	山下 秀一郎	パーシャルデンチャー補綴学	
医局長・准教授	田坂 彰規		
	大平 真理子		
助教	田中 章啓		
	池田 一洋		
	上窪 祐基		
	加藤 芳実	口腔顎顔面外科学	
教授	高野 正行		
医局長・講師	渡邊 章		
	吉田 秀児		
助教	大野 啓介		
	加藤 宏		
口腔外科		小郷 直之	口腔病態外科学
	部長・教授	片倉 朗	
	准教授	笠原 清弘	
	講師	(菅原 圭亮)	
		西山 明宏	
	助教	星野 照秀	
	小山 侑	歯科麻酔学	
	小谷地 雅秀		
部長・教授	一戸 達也		
部長代理・講師	半田 俊之		
講師	小鹿 恭太郎		
医局長・助教	久木留 宏和		
助教	吉田 香織	歯科矯正学	
部長・教授	西井 康		
講師	宮崎 晴代		
医局長・講師	片田 英憲		
講師	石井 武展		
講師	立木 千恵		
助教	海老澤 朋宏	小児歯科学	
	内山 沙姫		
部長・教授	新谷 誠康		
講師	辻野 啓一郎		
医局長・講師	櫻井 敦朗		
講師	本間 宏実		
助教	荒井 亮		

診療科名	職名	氏名	講座名
口腔インプラント科	部長・教授	矢島 安朝	口腔インプラント学
	客員教授	松浦 正朗	
	講師	本間 慎也	
	医局長・講師	佐々木 穂高	
		守 源太郎	
	助教	平野 友基	
	小田 由香里	口腔健康科学	
	野本 冬歌		
スぺシャルニーズ歯科・ペインクリニック科	科長・教授		福田 謙一
	教授		大多和 由美
	医局長・助教		半沢 篤
	助教		野口 智康
健康スポーツ歯科	科長・教授	武田 友孝	
	医局長・准教授	中島 一憲	
摂食嚥下リハビリテーション科	科長代行	片倉 朗	
	教授	石田 瞭	
	医局長・准教授	大久保 真衣	
	講師	中田 悠	歯科放射線学
放射線科	部長・教授	後藤 多津子	
	准教授	和光 衛	
	医局長・講師	音成 実佳	
	助教	小高 研人	臨床検査病理学
臨床検査科	部長・教授	松坂 賢一	
内科	科長・准教授	山岸 由幸	
	准教授	仁科 牧子	
眼科	科長・教授	ビッセン 弘子	
	医局長・助教	太田 友香	
	助教	西島 有衣	

()長期出張中

水道橋病院 診療案内

初診受付	平日・土曜とも8:50~11:00
お問い合わせ時間	平日8:45~17:30 土曜8:45~13:00
休診日	第2土曜・日曜・祝日・ 本学創立記念日(2月12日)・年末年始

【各診療科等ダイヤルインについて】

※患者さまには各科の直通電話番号をお知らせさせていただきますようお願いいたします。

5階	内科	03-5275-1926
4階	口腔外科	03-5275-1725
	歯科麻酔科	03-5275-1851
	放射線科	03-5275-1953
3階	補綴科	03-3262-3425・3426
	口腔インプラント科	03-5275-1760
	小児歯科	03-5275-1723
	矯正歯科	03-5275-1724
	スぺシャルニーズ歯科・ペインクリニック科	03-5275-1795
	摂食嚥下リハビリテーション科	03-5275-1732
2階	眼科	03-5275-1856
	保存科	03-5275-1721・1722
1階	健康スポーツ歯科	03-5275-1721・1722
	医事課	03-5275-1932
	地域医療連携室	03-5275-1732


 コラム

電車に乗らずに旅をする

東京歯科大学歯科放射線学講座 後藤 多津子



東京にこんなに綺麗な緑があったなんて。少しは運動不足を解消できればと、皇居そば北の丸公園に足を運んだ私を待っていたのは、辺り一面に輝く緑だった。春を告げる小鳥のさえずり、水面に映える蓮の花、小滝が生み出す川のせせらぎ。大学の近くののに、まるで車で数時間かけて行く深緑の世界へワープしたかのよう。こんなに良い所、なぜ今まで気づかなかったのだろう。



木漏れ日に照らされた歩道をすすむと、道の真ん中に大きな石が。少し気かけながら近づくと、石じゃない。亀だ。気持ちよさそうに日差しを浴びながら、微動だにしない。恐る恐る私が横を通っても、歯牙にもかけない。しばらく見つめていると、ようやくのっそりと動き出し、ゆっくりと茂みのなかへ消えていった。私のなかで、急に、なぜだか、彼（彼女？）をうらやましく思う気持ちが込み上げてきた。たぶん、あの亀が、「静」の世界に生きているからだ。

コロナウイルスで、私たちの世界は停止した。ニュース

では「コロナ危機」と叫ばれ、一刻も早く経済を回復してほしい人たちと、ウイルスの拡散を防ぎたい人たちが、答えのない議論でせめぎ合っている。私自身も、放射線科として苦しむ患者さんを早く診てあげたいという気持ちと、万が一にでもウイルスをうつしてはならないという矛盾の中でもがいている。前に進めないのは、もどかしい。でも、「静」の世界のなかでこそ、今まで見落としてきたことに何か気づけることがあるのではないだろうか。

紀尾井のガーデンテラスに行ったとき。静けさの中で



白とピンクの薔薇がほのぼのと心に染み入る。ふと庭師さんが目に入った。ふたりがかりで、懸命に手入れしてくださっている。歴史と文化があふれる

千代田区の気品は、それを守る人によって保たれているのだ。

私たちの住む街や人。普段目まぐるしい「動」の世界で生きているなかで、見落としていたものがみつかるかもしれない。電車にのらなくても、素晴らしい旅ができるのだ。

ICT (Infection Control Team) 紹介

我々、水道橋病院感染予防対策チーム委員会は、患者様や病院職員の COVID-19 予防対策に尽力して参りました。まだ、終息が見えないところではありますが、歯科大学病院として患者様に安心していただける感染予防対策を、この先も講じていきたいと考えております。

感染予防対策チーム委員会 委員長 吉田 秀児



東京歯科大学 水道橋病院

住所 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18

電話番号 03-3262-3421 (代表)

ホームページ <http://www.tdc.ac.jp/sh/>



東京歯科大学水道橋病院

検索

編集後記

コロナの影響で、水道橋畔発31号の発行も1か月遅れてしまいました。大学病院の取り組みについては記事にある通りです。思えば2月初めにダイヤモンドプリンセス号が横浜に停泊し、日々感染者が増え、屋形船からもクラスターが発生といったニュースを見ていたころ、こんな事態になるとは思っていませんでした。4月に緊急事態宣言が出て、大学も救急対応以外は全て休診となりました。週1回大学へ行き、ひたすら予約キャンセルの電話をかけていたのがつい最近の出来事です。授業もオンラインとなり、ある意味学生が一生涯授業を聞いている姿が見れてよい部分もありますが、実習は困りました。自分の担当の舌側弧線装置は、ろう着が自宅では危険なので行えず、やり方を教えるだけで、ワイヤーをゼロテープでとめて提出という事態になりました。こんな日常も少しずつ以前の姿に戻りつつあります。ソーシャルディスタンスを保ちながらマスクをする生活が当たり前になってきました。学生も少しずつ対面の授業が再開されてきました。新しい日常が始まります。

(片田 英恵 記)

▶▶▶ 次回、第32号では
保存科について詳しくご紹介します。